

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1502
施設名	目黒天空ちとせ保育園
施設所在地	目黒区東山2-7-14
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

3 自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 保護者からいただいた幼虫の飼育をきっかけに昆虫や生き物関心が高まった。年長の当番活動としてのエサやり等を行いながら、生き物のみでなく植物への関心も高めていった。職員や保護者も含め、お休みの日や登降園の道中に採取したものを共有スペース等に展示して楽しむことで、さらに子ども同士や親子での会話も広がっていた。また、園庭や散歩先の公園環境も自然に親しみやすいのでテーマとして遊びに取り入れることで日常的な遊びの広がりにもなると考えた。

2. 活動スケジュール

●幼虫やさなぎの飼育(カブトムシ・アゲハ蝶) → 成虫になった蝶を自然に放す経験
→ 図書館などで図鑑を調べたり、保育室の絵本・カードなどの遊びの中で生き物への関心を高める → 集めた木の実や収穫遠足で持ち帰った芋のツルを利用してのリース作り → 草花講師を招いての草花遊び → 園庭での自由な草花遊び → カマキリの飼育 → 蚕の飼育

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) ●飼育したものを観察する虫メガネやケース●自然物に親しむカードや図鑑・絵本●飼育に必要なエサ●採取した草花を観察する試験管●草花遊び講師を招いての草花あそび●園庭での草花あそびの道具(風呂の椅子・ミニテーブル・レジャーシート・泡だて器・鍋・容器・ボールなど●卒園式のお祝いのフラワーアレンジメント体験用の花

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

保護者の方の持ってきてくださった幼虫の飼育をきっかけとして、年長の当番活動でのえさやりが始まる。その中で、幼虫の変化を日々観察し大きくなることを楽しみにする姿が他のクラスにも広がっていく。自由遊びでも生き物や植物をテーマにしたものは子どもたちの関心も高く、遊びながら知識を広げて身に着けている姿が感じられた。草花遊びの講師を招いての活動は子どもたちの遊びの発想や経験をさらに広げて、自ら植物に関わって変化を感じ取ったり試す良い経験になった。その後の園庭遊びや草花への関心にも大きな影響があったように感じる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等) ●飼育物や採取した植物を飾る場所を玄関の共有スペースにし、世話をしている年長児以外も目に触れる機会を持てるようにした●玄関スペースでの展示を行うことで親子の会話も増え、「少し大きくなったね」「色が変わったね」等、子どもたちの関心も一層高まり観察を丁寧に行っていた●草花講師を招いての活動では草花の名前や特徴に関心を持ちながら、混ぜたりつぶしたりすることで起こる色や形、香りの変化をそれぞれが集中して楽しんでいた●草花遊びでの植物の変化は子どもにとって驚きの発見であったようで「ふかふかしてる」「酸っぱいにおいがする」「ピールみたい」などなど、子ども同士で発見を共有する会話も弾んでいた

飼育した蝶を自然に返す活動



講師を招いての草花あそび



卒園式のお祝いのフラワーアレンジメント体験



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

●展示の場所を決めることや保護者と一緒に見られるところに設置したことで、親子の会話も広がり興味が継続している様子が見ええた●草花遊びの講師を招いての体験は計画時に想像した以上に子どもたちが喜び、積極的に自然と関わり試し、学ぶ様子がみられた●また、講師を招いての活動は保育者がより子どもたちの会話や動きをしっかりとらえることができたので、その点でも良い時間となった